

ソノヒカギリ 美術館



あらすじ

ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。今日はここ、この場所でソノヒカギリ美術館が開かれます。お客さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのです。大慌てで荷解きをする二人。そこに迷い込んできた子ども、アキ。梱包の紙をガサガサしたりビリビリ破ったりしてあそび始め、ナールとシノギはちょっと仕事がかどりません。二人が並べた美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。

さて、ソノヒカギリ美術館は無事、オープンできるのでしょうか。

ようこそ 美術館へ

美術館と言えば、静かに絵や彫刻などを鑑賞する場所というイメージをもつ人が多いと思います。

ソノヒカギリ美術館は美術展示だけではなく、子どもたちの創作の時間もあります。音楽を奏でる時間もあります。物語りを感じる時間もあります。それらをすべてあわせると演劇になります。

この劇を観た子どもたちが、自分で思ったことや感じたことを表現したいと思ってくれたら、とてもうれしいことです。 構成・演出 大潤弘幸